

東日本大震災に関連した取組について

(独立行政法人国立科学博物館)

1. 復興支援等に係る取組

(1) 標本レスキュー活動

動物分野

- ①陸前高田市海と貝のミュージアム「ツチクジラ剥製標本」1個体

現地での応急修復を施した後、筑波地区自然史標本棟に移送。燻蒸及び自然乾燥の後、修復作業を行った。筑波地区にて保管中。

- ②おしかホエールランド「鯨類液浸標本等」3点

新宿分館に移送し、洗浄、再固定作業を行い、筑波地区にて一時保管中。



ツチクジラの搬出



筑波研究施設への搬入作業

植物分野

- ③陸前高田市立博物館「植物押し葉標本」約720点

筑波地区に移送し、洗浄、乾燥、修復作業を行い、資料リスト整理等を行った。一時保管後、岩手県立博物館に返送した。

- ④陸前高田市立博物館「海藻押し葉標本」約180点

筑波地区に移送し、洗浄、乾燥、修復作業を行い、資料リスト整理等を行った。一時保管後、岩手県立博物館に返送した。

- ⑤山田町立鯨と海の科学館「海藻押し葉標本」約700点

山田町役場において、洗浄、殺菌、乾燥、修復作業等の技術指導・支援を行うとともに、筑波地区において、救出した押し葉標本約700枚を洗浄、修復し、一時保管中。



実習生による植物標本修復



海藻標本修復

地学分野

⑥いわき市石炭・化石館「マストドン下顎化石」1点

棚から落下し、破損・粉々になった標本に応急処置。その後、本格的な修復作業を実施。いわき市石炭・化石館に返送した。

⑦陸前高田市立博物館「化石、岩石標本」約 3000 点

同博物館の展示室、収蔵庫の床に堆積したヘドロ状の土砂の中から回収を行い、市内の仮収蔵場所において洗浄、除菌、同定、分類、データ入力等を行った。



落下・破損したマストドン下顎化石



修復された化石

人類分野

⑧石巻文化センター「人骨標本」約 30 箱

新宿分館に移送。洗浄、乾燥、修復作業を行い、資料リスト整理等を行うとともに筑波地区にて一時保管中。



現地での人骨標本等の回収



レスキューされた縄文時代の骨角器と貝製品

※ なお、標本レスキューにあたっては、三菱商事株式会社拠出の東日本大震災復興支援助成金に申請を行い、レスキュー活動に活用した。

(2) 展示・学習支援活動関係

- ・ 科博 NEWS 展示「被災標本の標本レスキュー活動」平成 23 年 6 月 28 日～12 月 27 日
- ・ 特別展「恐竜博 2011」における東北地方応援企画展示
- ・ 特別展「恐竜博 2011」における被災地等の子どもたちに係る入場料免除の実施
- ・ 震災復興支援の科博コラボミュージアムの実施

「科博コラボ・ミュージアム 恐竜博士からのクリスマスプレゼント」

期間：平成 23 年 12 月 23 日

会場：米崎中学校（岩手県陸前高田市米崎町 米崎中仮設住宅）

岩手県陸前高田市の子ども達を主な対象として、現地博物館との連携により恐竜の講演会と体験教室（恐竜カレンダーペーパークラフト、化石のレプリカづくり、地元になんだ図柄を取り入れたオリジナルエコバックづくり）を実施。

- ・ ホットニュース「日本で起こる地震」「東日本大震災被災標本レスキュー活動」



科博 NEWS 展示会場



科博 NEWS 展示
海藻の液浸・洗浄の道具



恐竜博 2011
東北地方応援企画展示会場



恐竜博 2011
ツチクジラ尾びれの一部



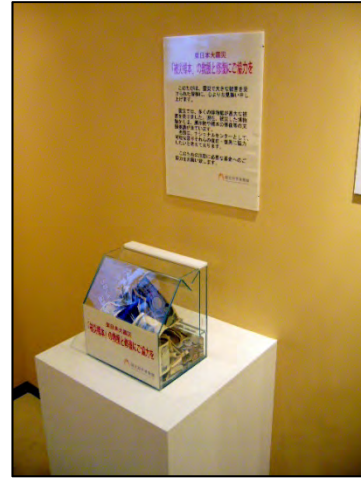
科博コラボ・ミュージアム
～恐竜博士からのクリスマスプレゼント～

(3) 義援金・募金

- ①上野本館，自然教育園に義援金箱を設置（～23. 6. 5）（約 37 万円）。
- ②上野本館，自然教育園に，東日本大震災における被災標本の救済と修復を目的として募金箱を設置（～23. 12. 27）（約 555 万円）。



義援金箱



標本レスキュー募金箱

(4) 全国科学博物館協議会理事長館としての取組

- ①岩手・宮城・福島において被災した 15 の加盟館へ見舞金送付
- ②文化庁の文化財レスキュー事業の構成団体に参加
- ③博物館の被害状況調査等を実施

(5) ICOM（国際博物館会議）日本委員会委員長館としての取組

日本博物館協会と共同で，日本博物館協会／ICOM 日本委員会東日本大震災対策本部を設置し，国外に向けた義援金の募金活動の強化及び情報発信

(6) 文化財レスキュー事業への協力

文化庁の文化財レスキュー事業を通して岩手県教育委員会（岩手県立博物館）より依頼があり，ドイツ型標本箱 50 箱，昆虫標本輸送用段ボール 50 箱等の資材提供を行った。

文化財レスキュー事業として，東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会の構成団体に加わった。

2. 震災被災地域での科博コラボ・ミュージアム（平成 24 年度）

岩手県・宮城県・福島県の被災地域の復興支援を目的として、現地の拠点となる博物館と連携し、科博コラボ・ミュージアムを実施する。平成 24 年度は岩手県において実施することとし、あわせて宮城県、福島県での実施に向けた現地との調整を行っている。

実施概要

○主 催 国立科学博物館
 全国科学博物館振興財団
 岩手県内の開催博物館

○実施内容（予定）

展示

- ・ 恐竜アロサウルスの全身骨格標本など国立科学博物館所蔵の標本の展示・紹介
- ・ 地元にはゆかりの標本資料等の展示・紹介
 （例：宮沢賢治ゆかりの化石や資料、震災からレスキューされた標本資料）
- ・ 関連するテーマの講演会、体験教室の実施
 ※現地の各博物館の希望に応じて実施

○実施場所（予定）

- ・ 久慈琥珀博物館（6月27日～8月7日）
- ・ 遠野市立博物館（7月20日～9月7日）
- ・ 陸前高田市立博物館（8月11日～8月19日）
- ・ 岩手県立博物館（9月11日～12月9日）
- ・ 大船渡市博物館（12月12日～4月14日）
- ・ 一関市芦東山記念館（1月11日～4月14日）

東日本大震災被災地域での科博コラボ・ミュージアム（復興支援）

岩手県・宮城県・福島県の被災地域の復興支援を目的として、現地の拠点となる博物館と連携し、科博コラボ・ミュージアムを実施

